

授業科目等の概要

#REF!	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
1	○			自然科学概論	生物・化学・数学(統計)について学ぶ。	1 ①	32	2	○			○				○
2	○			医療人間科学 I	自分の言葉で考察を加えた実習記録の書き方、歯科用語を使用した術式記録の記載、ならびに読解力の習得に留意を置く。	1 ①	32	2	○			○				○
3	○			健康社会学	健康や病気と社会とのかかわりについて基礎的理解を深めると同時に、医療者として市民が健康や病気への積極的に対峙する力を育むのにどのように支援するのかについて理解する。	1 ②	32	2	○			○				○
4	○			医療人間科学 II	実践的な歯科診療の場面に沿った英会話並びに専門的英単語を習得する。	2 ①	16	1	○			○				○
5	○			医療人間科学 III	実践的な歯科診療の場面に沿った英会話並びに専門的英単語を習得する。	2 ①	16	1	○			○				○
6	○			医療人間科学 IV	歯科医療人としての幅広い教養と豊かな人間性を身につけるために必要な知識・態度・技能を習得する。	3 ②	32	2	○			○				○
7	○			解剖学(組織発生学を含む)	専門知識の基盤となる、人体の構造と機能に関する知識を身につける。	1 ①	32	2	○			○				○
8	○			生理学	人の基本的構造や機能を理解し、臨床に必要な生理学の知識を習得する。	1 ①	32	2	○			○				○
9	○			口腔解剖学(口腔組織発生学を含む)	歯科衛生士にとって必要な口腔解剖学・口腔組織発生学の知識を習得する。	1 ①	32	2	○			○				○
10	○			歯牙解剖学	歯牙の特徴を観察することにより習得する。	1 ①	16	1	○			○				○
11	○			口腔生理学	顎顔面口腔領域の感覚機能や、経口摂取、発声、嘔吐などの生理的メカニズムを学習する。	1 ①	32	2	○			○				○
12	○			病理学	病気の原因・発症機序・進展および転帰を理解し、疾病の予防や治療の基礎となる知識を総合的に習得する。	1 ②	16	1	○			○				○
13	○			口腔病理学	口腔疾患の原因・発症機序・進展および転帰を理解し、疾病の予防や治療の基礎となる知識を総合的に習得する。	1 ②	32	2	○			○				○
14	○			微生物学(口腔微生物学)	微生物(口腔微生物)とそれらが原因となる疾患を理解するために、微生物の基本的性状、病原性と感染によって生じる病態、生体の防御機構としての免疫、に関する基本的知識を修得する	1 ②	32	2	○			○				○
15	○			生化学(栄養学)	生体を構成する様々な物質の特徴や代謝過程を学び、その知識に基づいて口腔生化学の知識を習得する。栄養素の働きや意義を学び、食生活と健康との関わりを理解する。	1 ②	32	2	○			○				○
16	○			薬理学(歯科薬理学)	薬理学の基本的な知識を身につけると共に、歯科臨床で用いられる薬物の特徴や副作用について必要な事項について学ぶ。	2 ①	32	2	○			○				○
17	○			衛生学・公衆衛生学	地域保健・公衆衛生の基礎的な知識を習得する。各ライフステージにおける法律や制度について知る。	1 ②	32	2	○			○				○
18	○			口腔衛生学	口腔清掃指導に必要な知識と歯科疾患予防を学習する。	1 ①	32	2	○			○				○
19	○			衛生統計学	歯科衛生士として得た情報を口腔内の疾病予防、健康増進に活用する方法を学ぶ。	2 ②	32	2	○			○				○

2 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。